

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年7月31日

上場会社名 川崎設備工業株式会社
 コード番号 1777 URL <http://www.kawasaki-sk.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣江 勝志
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 三輪 敬

TEL 052-221-7700

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,533	58.2	386	464.0	399	417.2	278	480.4
2019年3月期第1四半期	3,498	31.7	68	72.8	77	70.0	47	79.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	23.25	
2019年3月期第1四半期	4.01	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	18,263	8,328	45.6
2019年3月期	18,653	8,175	43.8

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 8,328百万円 2019年3月期 8,175百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				10.00	10.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2019年3月期期末配当金10円には、特別配当3円を含んでおります。

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	26.8	570	20.1	575	18.0	380	19.2	31.76
通期	23,500	2.6	1,130	28.5	1,140	29.0	740	32.8	61.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	12,000,000 株	2019年3月期	12,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	35,798 株	2019年3月期	35,798 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	11,964,202 株	2019年3月期1Q	11,964,207 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等により緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の激化の影響が懸念される等、先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、人手不足の対応や原材料価格の上昇等の懸念材料は顕在しながらも、首都圏の再開発やインフラ整備関連等を控え、また、公共工事予算の伸びも追い風となり、公共投資、民間設備投資ともに依然として底堅く推移しております。

このような状況のなかで、当社は、社会に貢献し夢のある会社の実現に向け、黒字安定経営の継続を目指し、受注目標の達成等の施策を推進してまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、受注高につきましては、一般ビル工事、産業施設工事および電気工事がすべて減少したことにより61億60百万円(前年同期比17.6%減)となりました。完成工事高につきましては、一般ビル工事および産業施設工事の増加により55億33百万円(前年同期比58.2%増)となりました。損益面につきましては、営業利益3億86百万円(前年同期比464.0%増)、経常利益3億99百万円(前年同期比417.2%増)、四半期純利益2億78百万円(前年同期比480.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間の資産合計は、前事業年度末に比べ3億89百万円減少し、182億63百万円となりました。主な減少理由は、現金預金等で増加があるものの、完成工事未収入金等が減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ5億42百万円減少し、99億35百万円となりました。主な減少理由は、電子記録債務等で増加があるものの、工事未払金等が減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ1億53百万円増加し、83億28百万円となりました。主な増加理由は、四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年4月26日公表の予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2020年3月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,401,034	2,246,448
受取手形	755,733	761,269
電子記録債権	2,768,926	2,845,502
完成工事未収入金	8,342,189	7,178,506
未成工事支出金	297,662	430,864
その他	593,608	304,759
貸倒引当金	△129,100	△114,700
流動資産合計	14,030,054	13,652,651
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,666,501	1,641,032
土地	1,647,813	1,645,243
その他(純額)	120,161	112,014
有形固定資産合計	3,434,476	3,398,290
無形固定資産	294,603	320,830
投資その他の資産		
その他	921,976	920,290
貸倒引当金	△27,794	△28,250
投資その他の資産合計	894,182	892,040
固定資産合計	4,623,262	4,611,161
資産合計	18,653,316	18,263,812

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	901,235	979,281
電子記録債務	2,155,367	2,840,147
工事未払金	4,100,906	2,277,863
未払法人税等	276,409	130,561
未成工事受入金	475,330	1,021,832
賞与引当金	531,370	189,168
役員賞与引当金	22,336	-
完成工事補償引当金	29,414	31,142
工事損失引当金	92,021	57,176
その他	734,602	1,229,858
流動負債合計	9,318,993	8,757,030
固定負債		
退職給付引当金	997,464	999,447
その他	161,210	178,536
固定負債合計	1,158,674	1,177,984
負債合計	10,477,668	9,935,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,581,000	1,581,000
資本剰余金	395,250	395,250
利益剰余金	6,170,789	6,329,268
自己株式	△7,888	△7,888
株主資本合計	8,139,150	8,297,629
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,497	31,167
評価・換算差額等合計	36,497	31,167
純資産合計	8,175,648	8,328,797
負債純資産合計	18,653,316	18,263,812

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
完成工事高	3,498,069	5,533,316
完成工事原価	3,004,849	4,718,371
完成工事総利益	493,219	814,945
販売費及び一般管理費	424,623	428,096
営業利益	68,595	386,848
営業外収益		
受取配当金	2,926	2,675
不動産賃貸料	11,000	11,340
固定資産売却益	5	4,743
その他	1,849	614
営業外収益合計	15,781	19,374
営業外費用		
支払利息	339	202
不動産賃貸費用	4,088	4,817
その他	2,703	1,664
営業外費用合計	7,131	6,684
経常利益	77,245	399,538
税引前四半期純利益	77,245	399,538
法人税等	29,326	121,418
四半期純利益	47,919	278,120

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。